

環境にやさしい建築シンポジウム～これからの建物に求められるもの～



OM07大阪 by 星野リゾート

写真：稲住写真工房

Chapter 01 **計画概要** / **Outline**

Chapter 02 デザイン / Design

Chapter 03 環境・設備計画 / Equipment

- ミナミの少し南側
- 新世界の近く
- あいりん地区の近く



1 都市観光に理想的な「立地」

→交通機関や観光スポットへの利便性

2 他都市にない「ディープな魅力」

→コテコテの大阪文化は貴重な観光資源

3 改善しつつある「治安」

→バックパッカーの増加は追い風



Chapter 01 計画概要

規模

- 敷地面積 : 13,907.34㎡
- 建築面積 : 7452.53㎡
- 延床面積 : 37,256.18㎡
- 階数 : 地上14階 地下なし
- 建蔽率 : 53.59% (許容80%)
- 容積率 : 240.90% (許容400%)

寸法

- 最高高さ : 65.76m
- 軒高 : 58.52m
- 階高(基準階) : 3,600mm
- 天井高(基準階) : 2,770mm
- 主なスパン : 10,000 × 7,800mm

敷地条件

- 地域地区 : 商業地域
- : 準防火地域
- : 駐車場整備地区他
- 道路幅員 : 北 11.00m
- : 南 15.00m
- 駐車台数 : 84台

構造

- 主体構造 : RC造、一部S造 (中間層免震)
- 基礎地業 : 場所打ちコンクリート杭

電気

- 受電方式 : 架空引込方式/1回線/6.6kV
- 設備容量 : 5381.8kW
- 契約電力 :
- 予備電源 : ガスタービン/6600V/750kVA

空調・給排水衛生

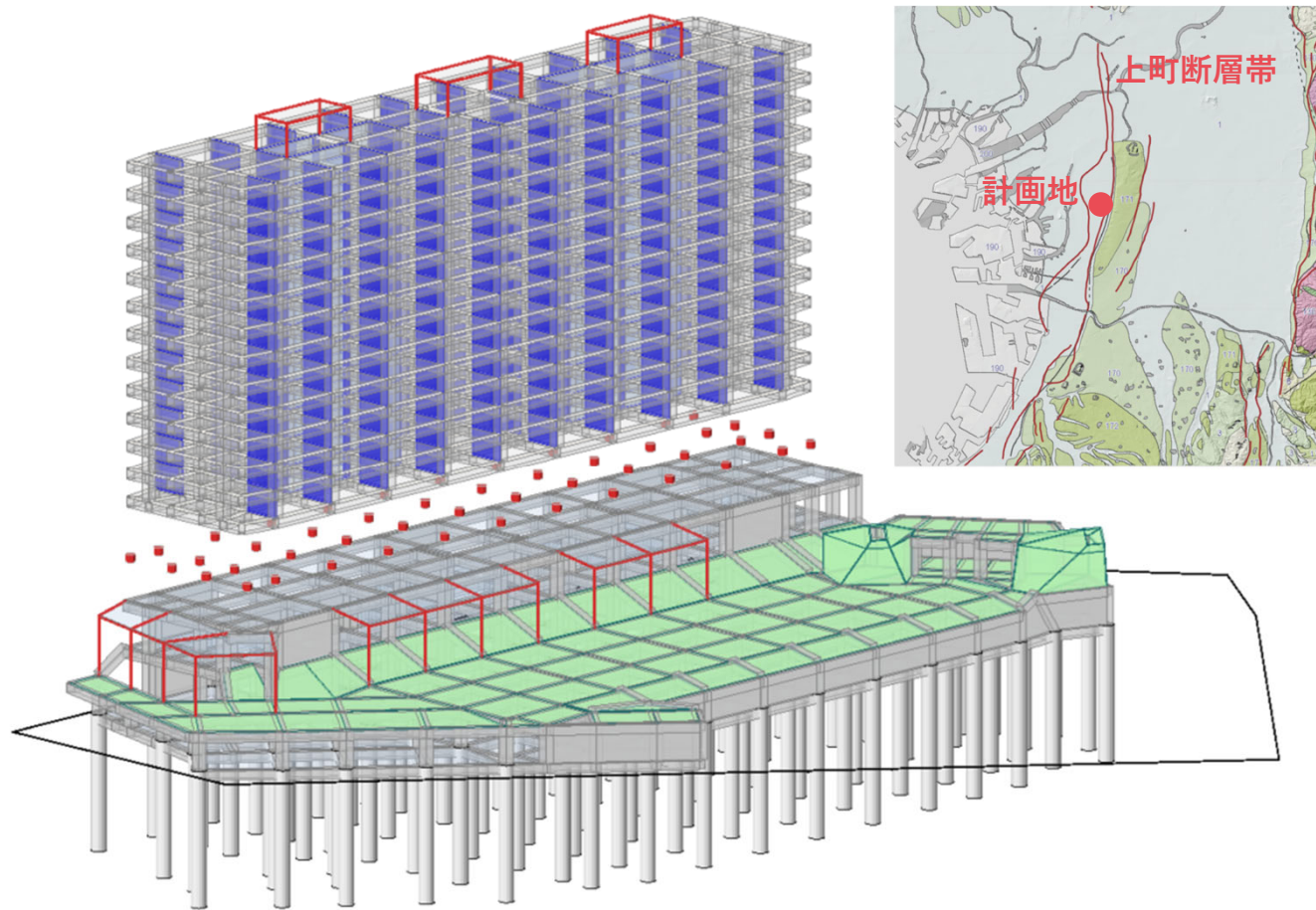
- 空調方式 : 外気処理空調機 + 空冷PAC
- 熱源 : 空冷HPモジュールチラー
- 給水 : 加圧給水方式
- 給湯 : 潜熱回収型 + HPハイブリッド給湯

規模

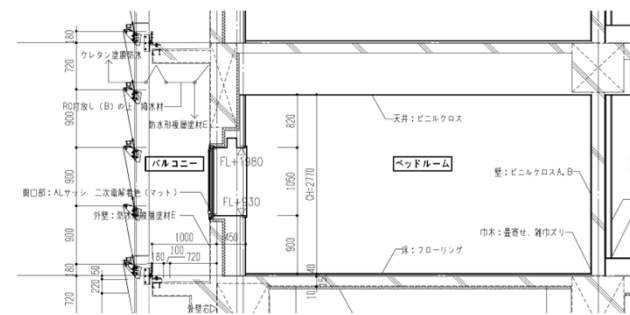
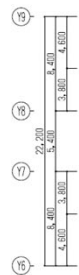
- 敷地面積 : 13,907.34㎡
- 建築面積 : 7452.53㎡
- 延床面積 : 37,256.18㎡
- 階数 : 地上14階 地下なし
- 建蔽率 : 53.59% (許容80%)
- 容積率 : 240.90% (許容400%)

構造

- 主体構造 : RC造、一部S造 (中間層免震)
- 基礎地業 : 場所打ちコンクリート杭



Chapter 01



基本情報

客室数 : 436室
 フロアあたり客室数 : 38室/フロア
 ルームタイプ : 8タイプ (バリフリ1室)

基準階仕様

基準階面積	: 2,163㎡
基準階有効率	: 69.1%
平面形式	: ツインコリダー型
廊下排煙	: 自然排煙（エコボイド利用）
付室排煙	: 機械排煙

客室仕様

階高 : 3,600mm
天井高 : 2,770mm
間口 : 5,000、10,000mm
遮音性能 : 学会基準2級以上

主要施設

- レストラン
- カフェ / ラウンジ
- × スパ / マッサージ
- × キッズルーム
- × プール
- × 温泉
- × 会議室

Chapter 01 計画概要 / Outline

Chapter 02 デザイン / Design

Chapter 03 環境・設備計画 / Equipment

1. 上位計画への配慮

- 大阪府「緑の風 促進区域」
- 既存の緑地とのつながりを広げる

2. 配棟計画

- 駅側への圧迫感の軽減
- ビュースポットへの視点場

3. 星野代表の想い

- エリアに貢献するベネフィット
- スタッフの発想を表現する舞台



なぜ駅前にオープンスペースをつくるのか？

1. 上位計画への配慮

- 大阪府「緑の風 促進区域」
- 既存の緑地とのつながりを広げる

2. 配棟計画

- 駅側への圧迫感の軽減
- ビュースポットへの視点場

3. 星野代表の想い

- エリアに貢献するベネフィット
- スタッフの発想を表現する舞台



なぜ駅前にオープンスペースをつくるのか？

1. 上位計画への配慮

- 大阪府「緑の風 促進区域」
- 既存の緑地とのつながりを広げる

2. 配棟計画

- 駅側への圧迫感の軽減
- ビュースポットへの視点場

3. 星野代表の想い

- エリアに貢献するベネフィット
- スタッフの発想を表現する舞台

全ての人に
ベネフィットを！



Chapter 02 平面構成



サーヴェイで得られた3つの視点



▼
船、帆



▼
アクティブ



▼
景観配慮

星野リゾートからの3つのリクエスト

1
ブランドコンセプト
を表現したい！

▼
おもしろい
おもてなし

2
環境技術を
可視化させたい！

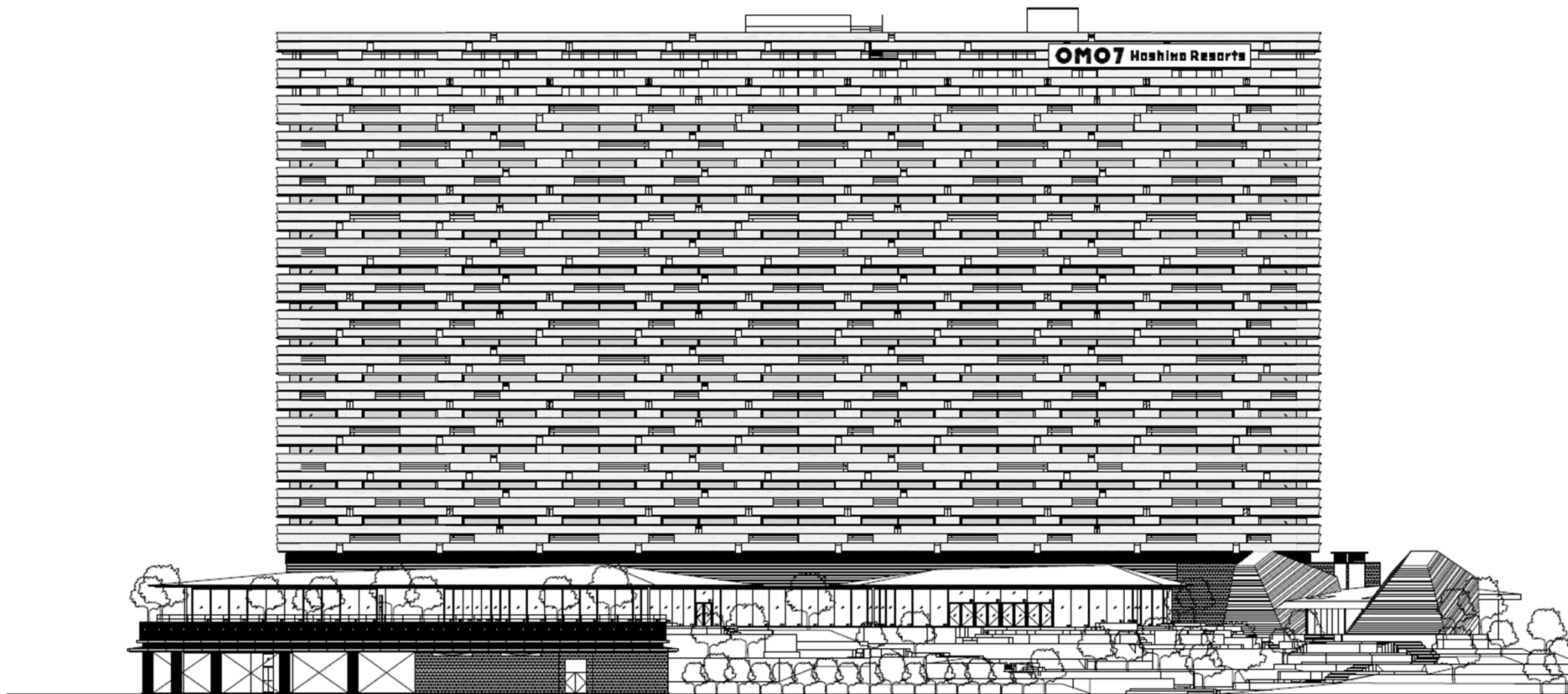
▼
ダブルレイヤー

3
ワクワクする
建築にしたい！

▼
うごき

膜材で客室をつつみこむ

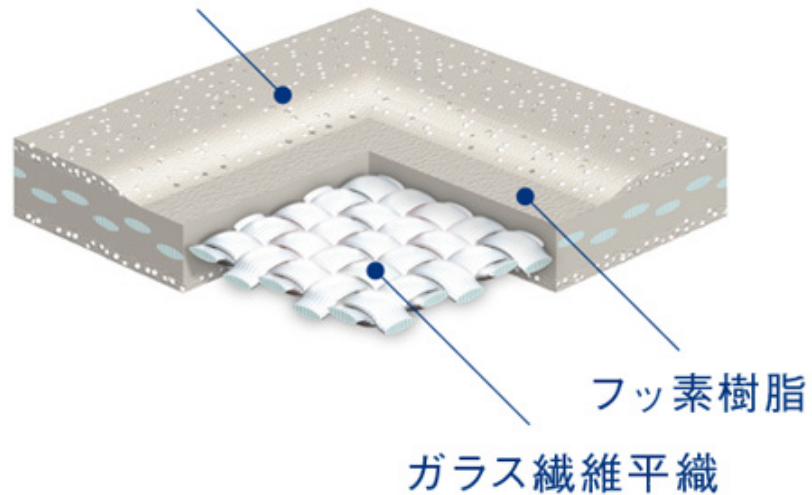




フッ素樹脂 酸化チタン 光触媒膜

材料特性

フッ素樹脂＋
酸化チタン光触媒層



- 自浄作用（ノーマンテ）
- 光の透過性（ふんわり感）
- 伸縮性（アルミ熱伸び追従）



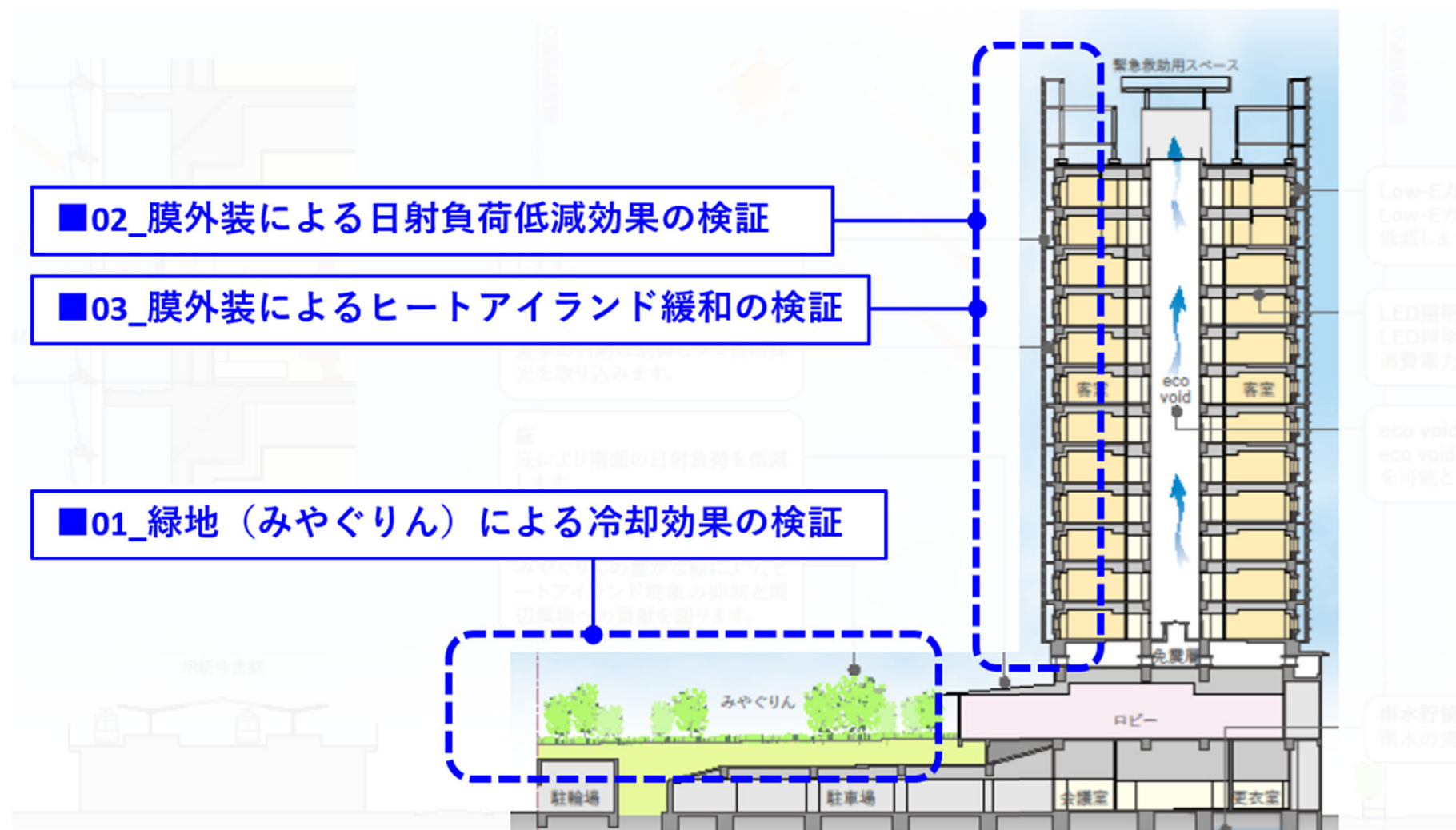
Chapter 01 計画概要 / Outline

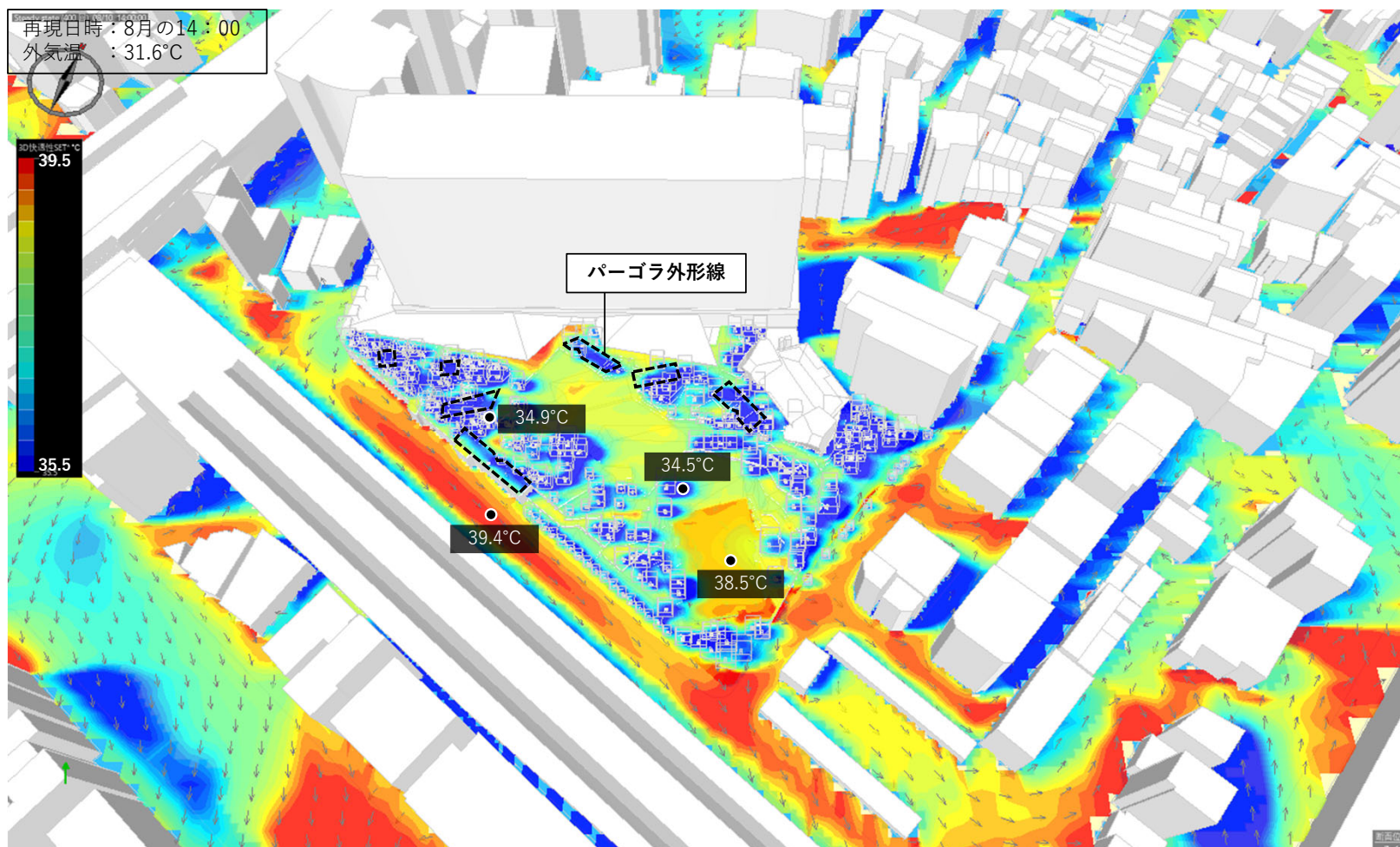
Chapter 02 デザイン / Design

Chapter 03 環境・設備計画 / Equipment

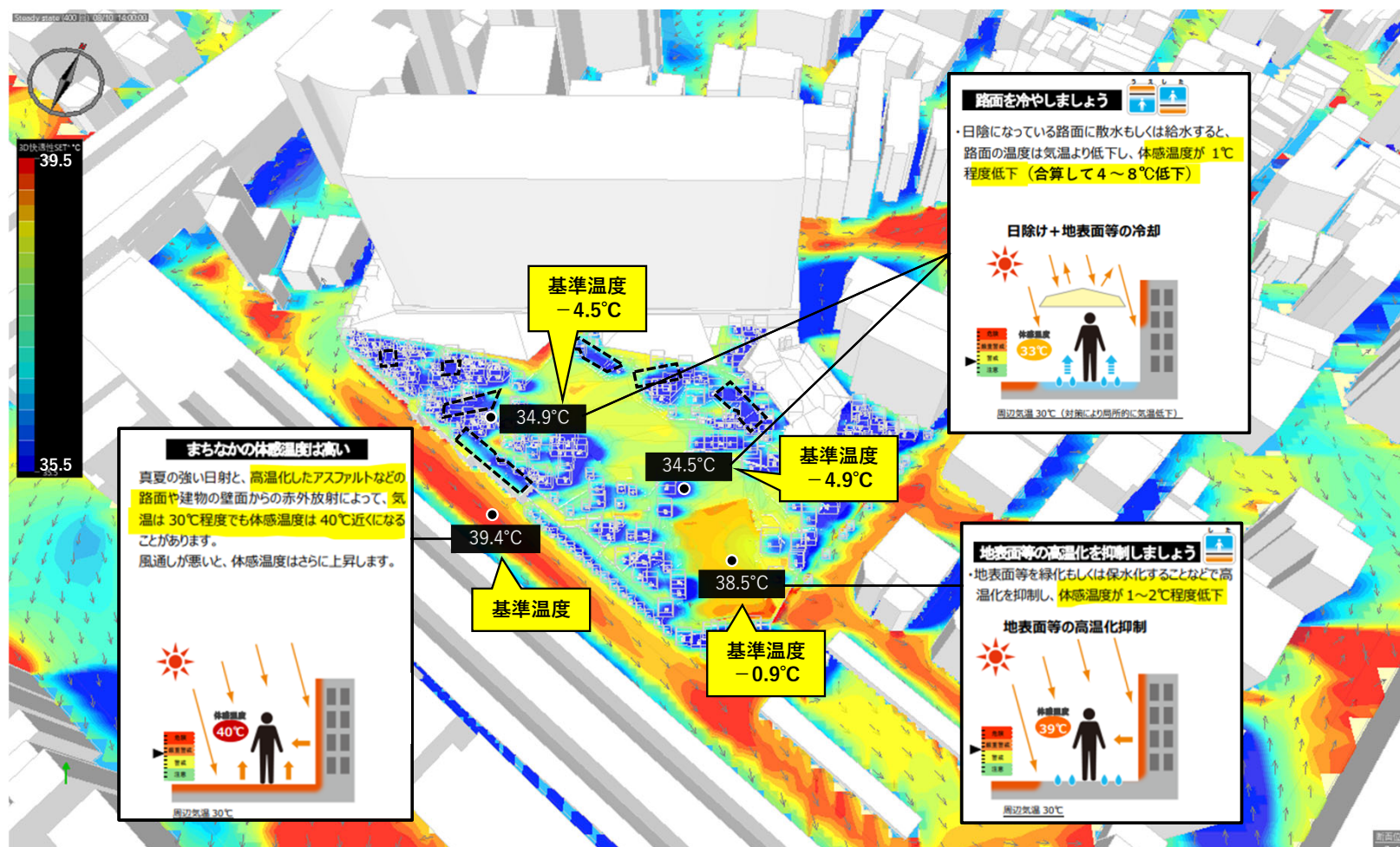


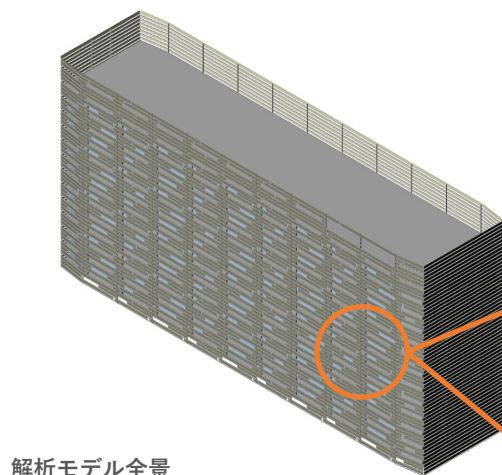






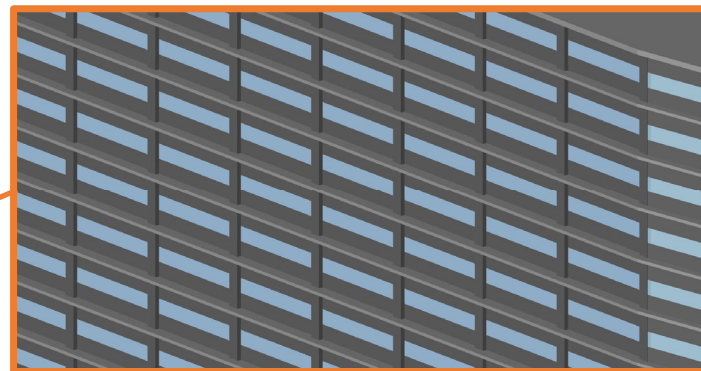
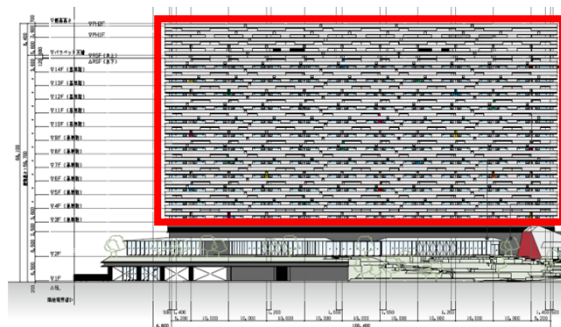
01_緑地（みやぐりん）による冷却効果の検証



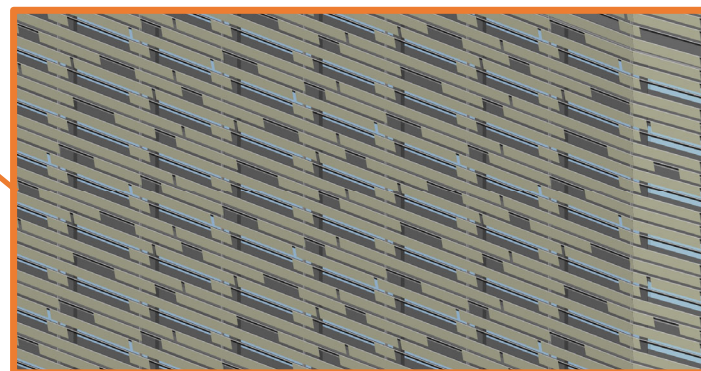


解析モデル全景

解析モデル作成範囲（基準階部分）



膜外装なしver.

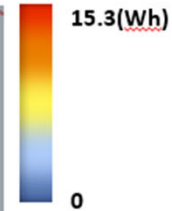
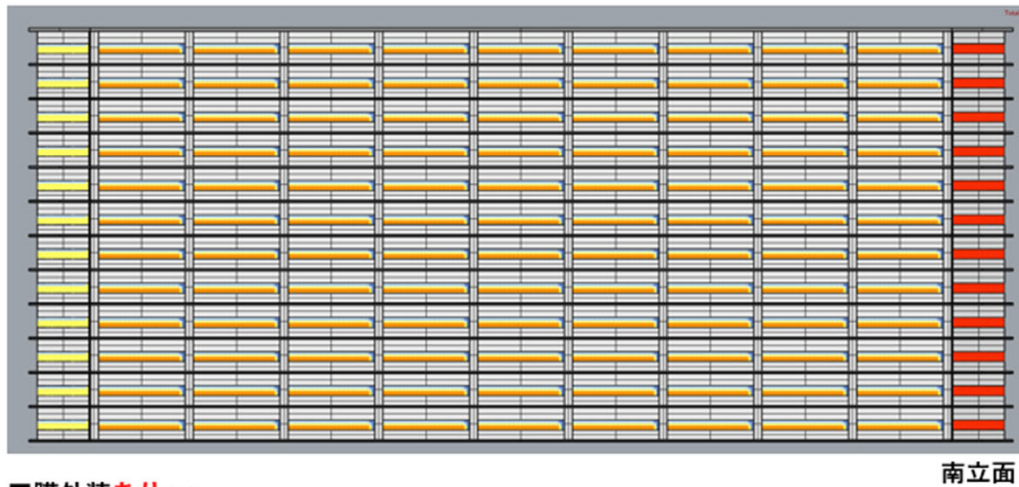


膜外装ありver.

02_膜外装による日射負荷低減効果の検証

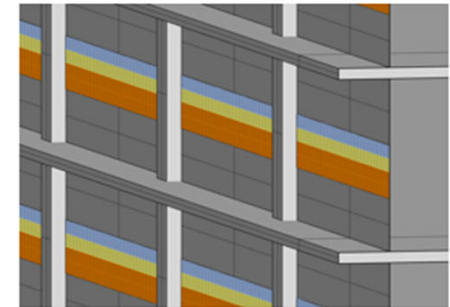
解析日：8月15日

■膜外装なしver.



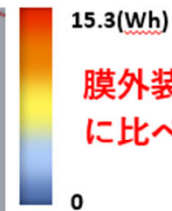
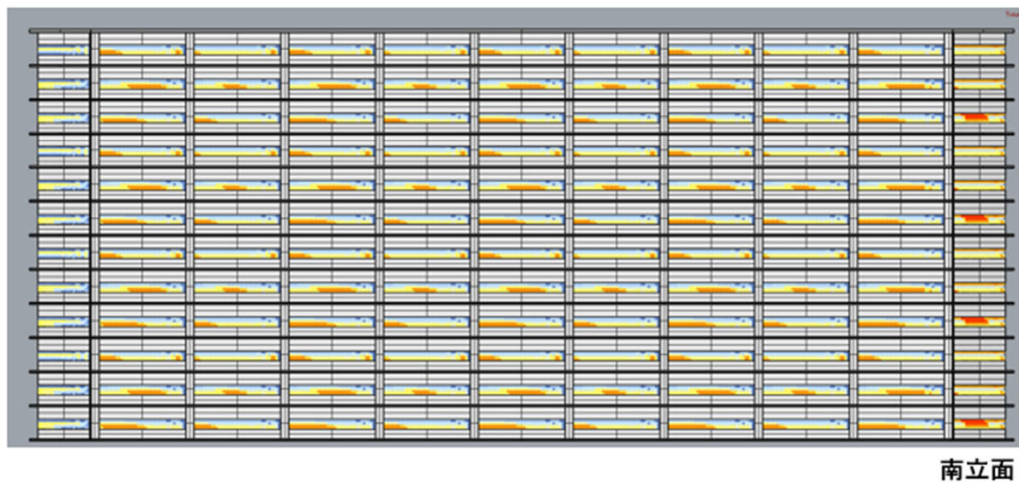
南の窓ガラス部分から
室内に入る日射量の合計値
(15時～翌10時までの積算値)

約 146 kWh



詳細ビュー

■膜外装ありver.

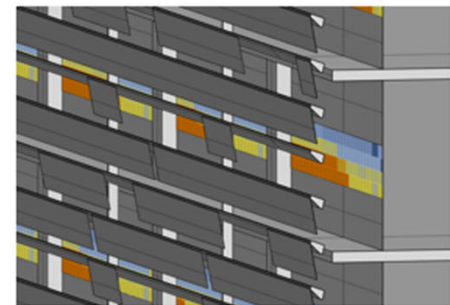


膜外装なしver.
に比べ 約 42 kWh 削減
(29%)

南の窓ガラス部分から
室内に入る日射量の合計値
(15時～翌10時までの積算値)

約 104 kWh

太陽高度が高い「5～8月」は
水平バルコニーの効果が大きいため
膜外装の効果は比較的小さくなる

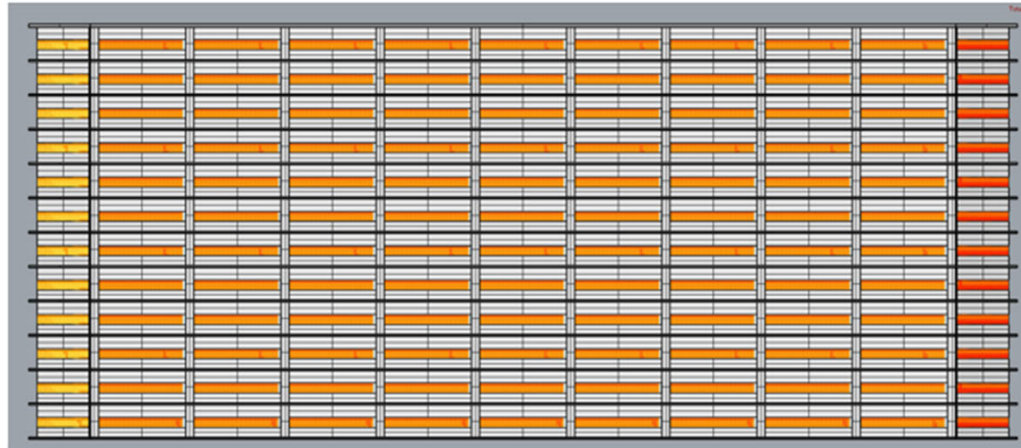


詳細ビュー

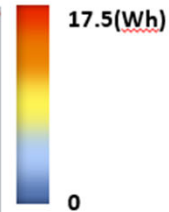
02_膜外装による日射負荷低減効果の検証

解析日：9月15日

■膜外装なしver.

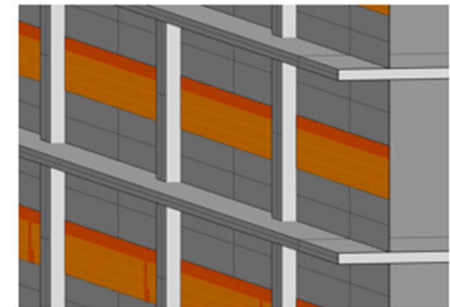


南立面



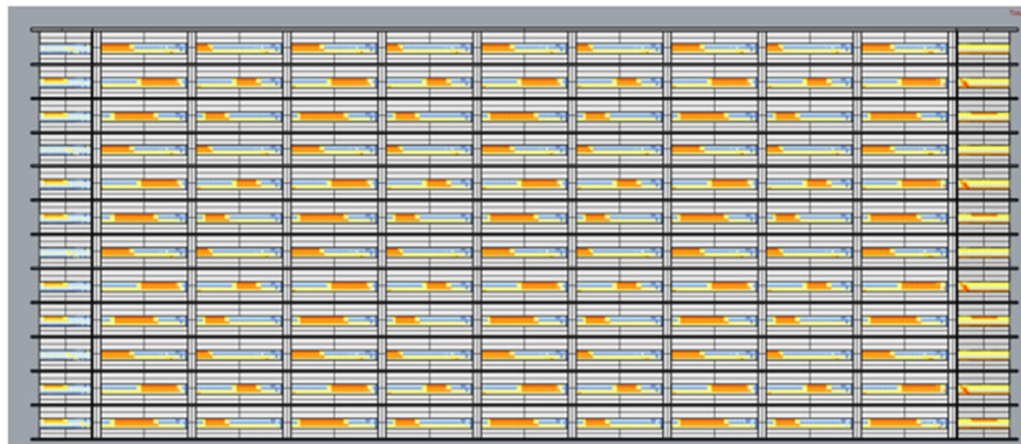
南の窓ガラス部分から
室内に入る日射量の合計値
(15時～翌10時までの積算値)

約 243 kWh

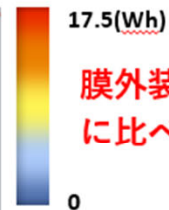


詳細ビュー

■膜外装ありver.



南立面

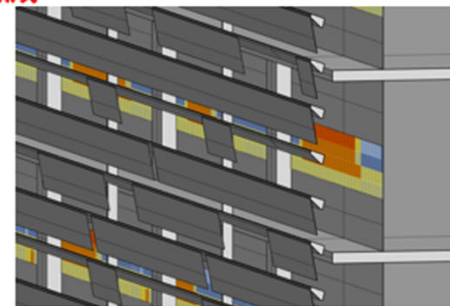


膜外装なしver.
に比べ約 112 kWh 削減
(46%)

南の窓ガラス部分から
室内に入る日射量の合計値
(15時～翌10時までの積算値)

約 131 kWh

太陽高度が低くなる「9～10月」は
水平バルコニーの効果が小さいため
膜外装の効果は大きくなる

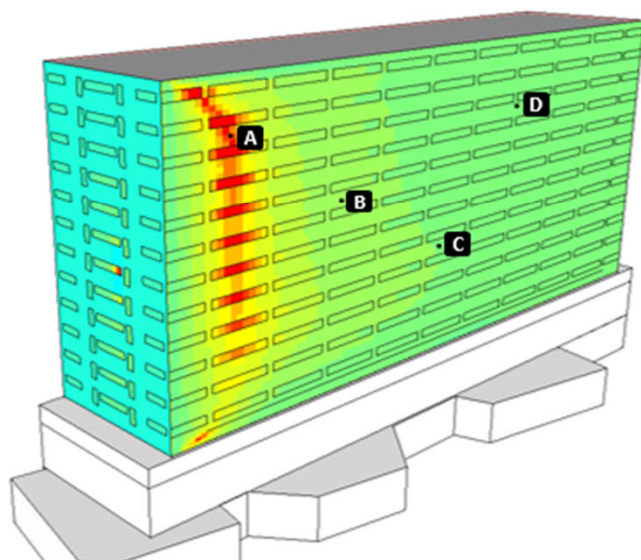


詳細ビュー

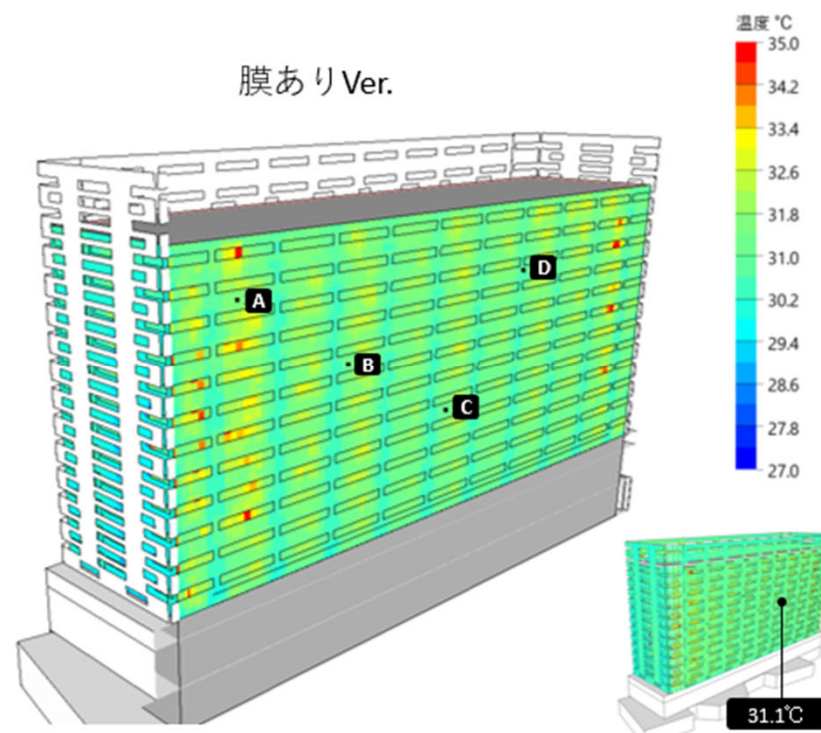
膜の有無による表面温度解析

解析結果：8月／12：00／外気温 30.8℃

膜なし Ver.



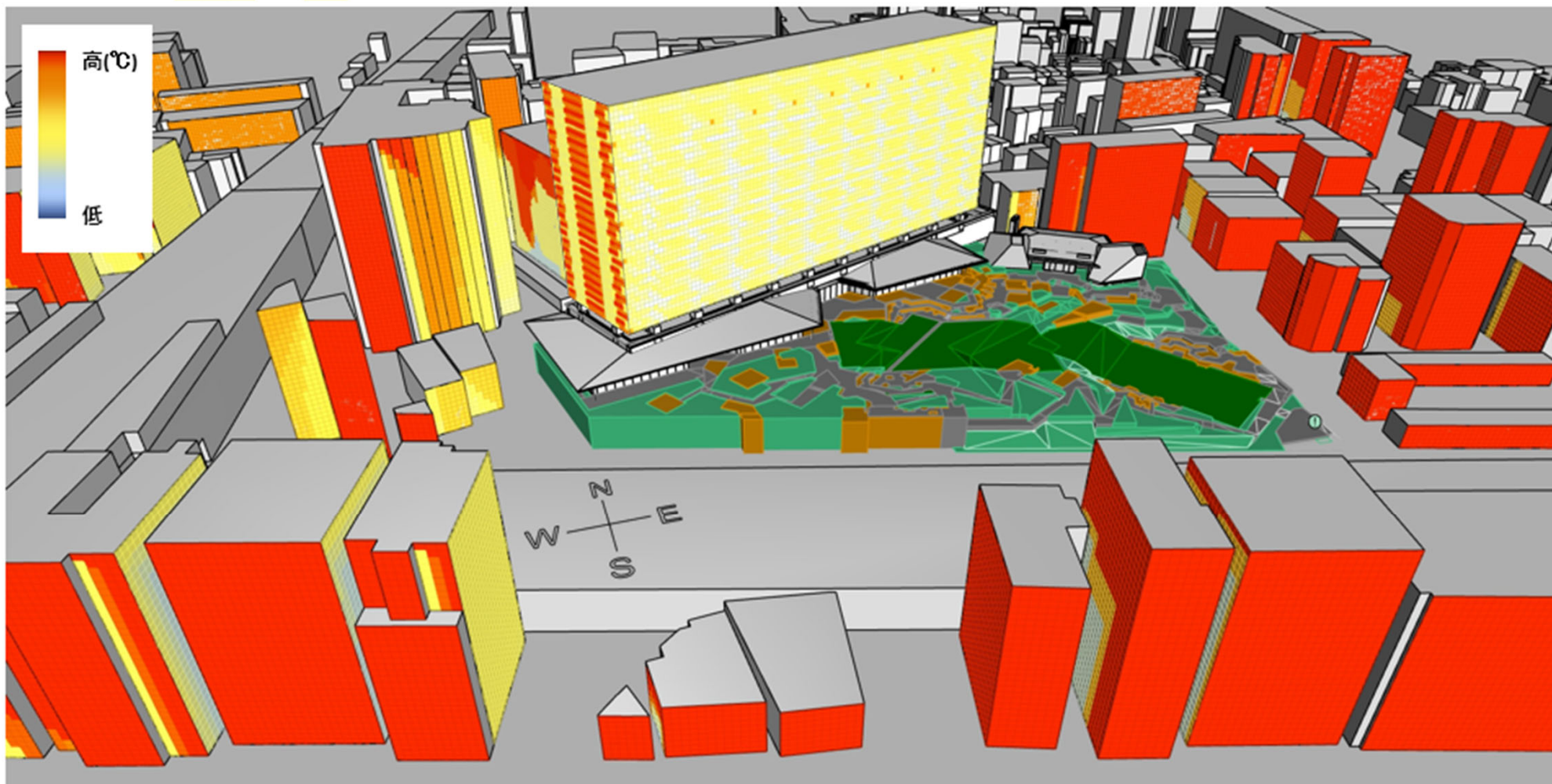
膜あり Ver.



03_膜外装によるヒートアイランド緩和の検証

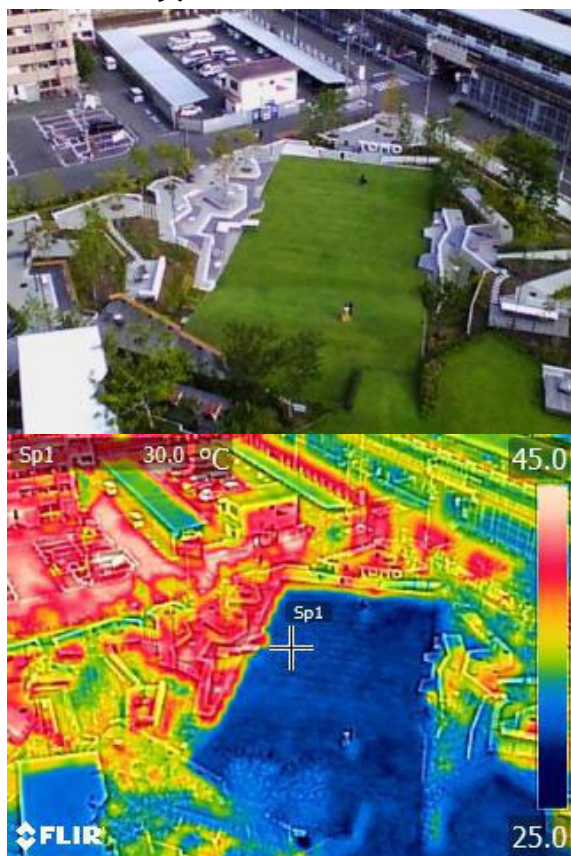
■解析日：8月／14：00 膜ありVer. （周辺建物の壁面温度が最も高くなる時間）

周辺を含めた簡易的な表面温度解析

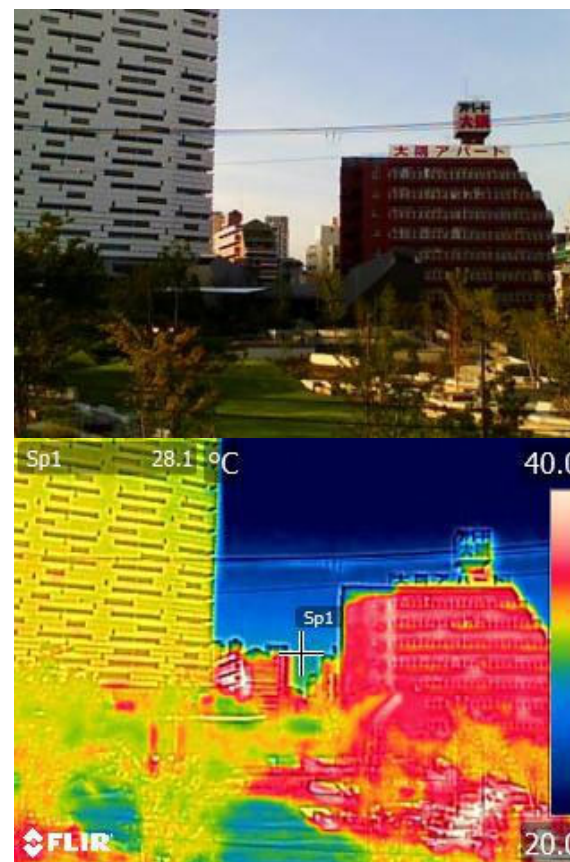


撮影日：2022年9月15日
天候：晴れ 最高気温：33.6°C

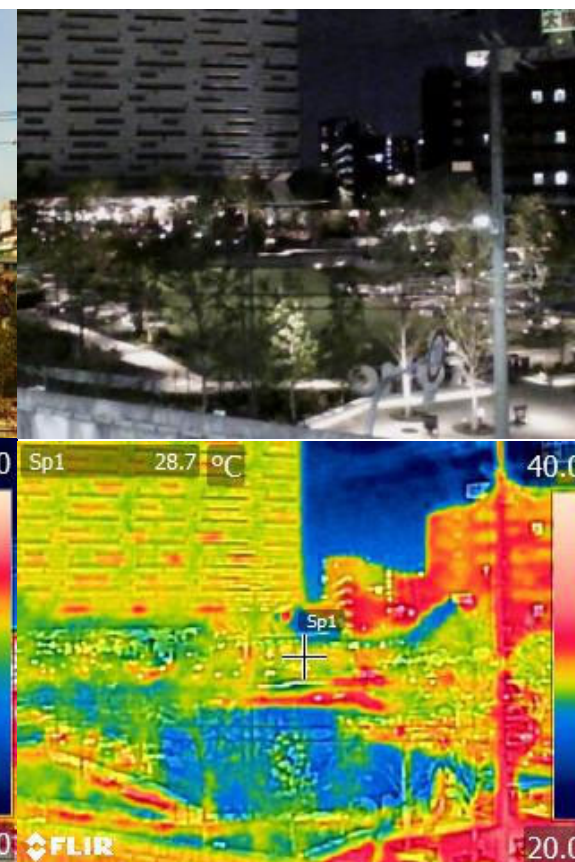
16：30頃



17：10



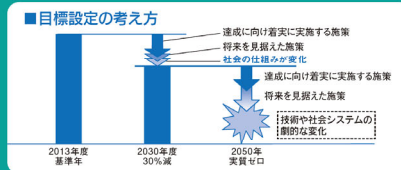
19：10



みんなの力で未来はきっと変わる！ めざすは「ゼロカーボン おおさか」

世界はいま、迫りくる地球温暖化の危機に立ち向かうため、温室効果ガス排出量実質ゼロに向け取組みを始めしています。

大阪市も、めざすべき将来像に向け、皆さまとともに、様々な取組みを進めてまいります。



温室効果ガスの削減目標

大阪市の温室効果ガス排出量は、2017年度時点で1,884万トン・CO₂です。大阪시는 2030年度までに、2013年度比で30%削減、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロをめざします。

めざすべき将来像・取組方針

2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを達成した「ゼロカーボン おおさか」は、「5つのまち」からなります。「5つのまち」の実現に向け、あらゆる主体とのパートナーシップを構築し、連携・協働して取組みを推進していきます。

●「ゼロカーボン おおさか」に向けて



障壁となる規制緩和

2050年像の共有

革新的イノベーションの率先導入

国際協力・国際貢献

2050年 ゼロカーボン おおさか

脱炭素な社会づくりや気候危機の回避に貢献する環境イノベーションの推進

●あらゆる施策に気候変動への備えがある

●分散型エネルギーインフラによる備えがある

●海外の脱炭素化をけん引

●環境ビジネスの海外輸出

●ローカルSDGsの形成

●EV、FCVが主力

●低炭素型交通
●物流ネットワーク

●再生可能エネルギー、未利用エネルギー、水素などの新たなエネルギーが主力エネルギー

●プラスチックごみゼロ

●緑化の推進

●環境技術の実装

●脱炭素型ライフスタイルやワークスタイル

●エネルギー消費の抑制

●地中熱利用の標準化

●自立した脱炭素型事業活動

2025年

大阪・関西万博の開催

2030年
「SDGs達成に貢献する環境先進都市」

脱炭素社会「ゼロカーボン おおさか」を形成する「5つのまち」

低炭素なエネルギーで暮らすまち

エネルギーの低炭素化と徹底した省エネルギー化に取り組みます。



取組み

- ▶再生可能エネルギーのより一層の普及拡大
- ▶未利用エネルギーの徹底した活用
- ▶水素などの新たなエネルギーの活用、拡大
- ▶電動車の普及拡大

脱炭素マインドに満ち溢れ、脱炭素な行動が浸透したまち

より環境性能に重点を置いた消費行動へ転換を図ります。



取組み

- ▶ライフスタイルやワークスタイルの変革
- ▶環境教育・普及啓発の推進
- ▶エネルギー消費の抑制
- ▶建築物の省エネ化
- ▶事業活動の低炭素化に向けた自主的な取組みの促進
- ▶大阪市の率先行動

脱炭素化のしくみを組み込んだ持続可能なまち

環境技術の実装されたまちづくりをとおし、SDGs達成に貢献する持続可能なまちづくりを加速させます。



取組み

- ▶環境技術の実装されたまちづくり
- ▶交通ネットワークの改善や物流対策による低炭素化
- ▶移動の低炭素化
- ▶省資源と資源循環の促進
- ▶海洋プラスチックごみの汚染ゼロ実現に向けた取組み
- ▶緑化の推進

多様なきずなを活かし、脱炭素化をリードするまち

大阪市が培ってきた様々なネットワークを活かし、脱炭素社会の構築を進めます。



取組み

- ▶環境・エネルギー産業の振興とあらゆる事業者の持続的成長
- ▶地域間の連携を基盤とした域外貢献
- ▶都市間協力の推進
- ▶官民連携による海外展開の推進

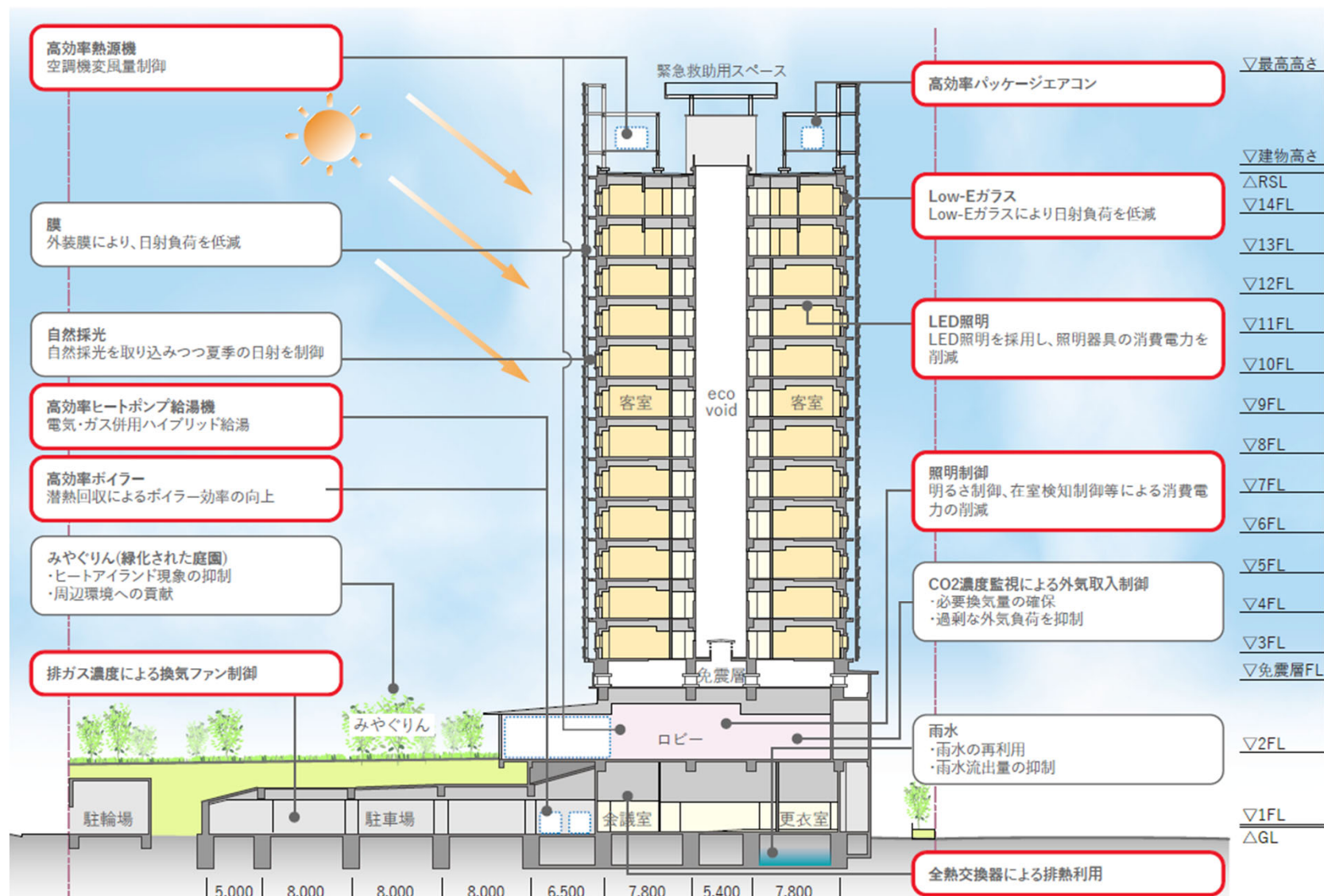
気候変動への備えがあるゆるぎないまち

堅牢でレジリエンスの高い、持続可能なゆるぎないまちを創り上げます。



取組み

- ▶気候変動への適応に向けた施策の充実
- ▶都市水害に対する取組み
- ▶暑熱対策
- ▶グリーンインフラの拡充
- ▶エネルギーインフラの拡充によるレジリエンスの強化





年間熱負荷係数	BPI _m	0.83
一次エネルギー消費量	BEI_m	0.59
空気調和設備	BEI _m /AC	0.58
機械換気設備	BEI _m /V	0.55
照明設備	BEI _m /L	0.52
給湯設備	BEI _m /HW	0.69
昇降機	BEI _m /AC	1.00

Thank You !!

